

神のおとずれ

日本聖公会 神戸教区報



2021年
6月号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<https://www.nskk-kobe.org/>

発行責任者
司祭 上原 信幸

印刷所
文明堂印刷所

横を見るな、上を見よ

司祭 マルコ 平野 一郎



ルター之苦悩

十六世紀の初頭、若きマルティン・ルターはドイツの修道院に入った時、自分の罪に苦悩し、深い挫折に陥っていました。

彼はもう神様の力に頼るしかなかったのですが、行いによる救いの達成への執着や自

己愛に縛られ、八方塞がりとなっていました。

そこでルターはドイツのヴイッテンベルク大学初代神学部長のシュタウピッツに罪と苦しみを告白することになりました。

ルターはシュタウピッツから「自分の罪だけを見ることをせず、キリストだけを見ること、キリストのみ愛すること」を教えられ、目覚めさせられたのでした。

今までのルターは「自分がどうであるか」という「自分

ばかり見つめて、苦しんでいました。しかし、シュタウピッツの助言によって、「自分」から「イエス・キリスト」に転換していくようになったのです。

その後、ルターは時間をかけながらキリストの十字架の恵みを知っていき、深い魂の平安を得たのでした。

横を見るな、上を見よ

一般的に人は自分のことや人のこと、起こっている問題、課題などについてだけに目が行き、その問題だけに焦点が行き、苦しみ続けるということはよくあるのではないかと思います。

羽鳥明牧師は「人間が駄目になる一つの確かな生き方は、上を、つまり神さまを見

ないで、横を、つまり人ばかり見て生きる生き方だと思う。横を見たら、がっかりすることばかり。横を見て威張ったり、ペシヤンコになるのはやめましょう。上を見てください。イエスさまの愛の中に、あなたの主体性、世界でたった一人のあなたとして愛され、期待されていることを見出して、力強く生きてください」とその著書『心ゆたかに』の中で述べています。

私たちも自分のこと、また人のことや問題という横ばかりを見てしまっているのではないのでしょうか。

上から来る平安

淀川キリスト教病院名誉ホスピス長の柏木哲夫氏も「横の平安とは常に非常に不安定な要素を持っています。…富…、地位…、名誉…いい家族…、友だち…、これらすべて

横の関係です。…私が一番、強調したい、生きていくうえで必要な人生の実力・力の源

泉は、この、魂の平安をいただくということ。それは決して横からは来ません。上からしか来ないのです」と著書『生きていく力』の中で述べています。

神様だけを見ること

聖書では「信仰の創始者、また完成者であるイエスを見つめながら」(ヘブライ十二章二節)と教えられています。口語訳では「信仰の導き手であり、またその完成者であるイエスを仰ぎ見つつ」となっています。

コロナ禍の中にあつて、私たちは横の部分、即ち、自分や人のことなどの不確定要素だけを見るのではなく、上を、神様だけを見て、神様だけを心に留め、神様からの魂の平安を頂きながら、この厳しい世の中を生きていきたいものです。

福山諸聖徒教会牧師
倉敷聖クリストファー教会
管理牧師

神学塾通信講座

……受講者からの感想……

「教理学」を受講して

旧約聖書や新約聖書の学びではなく、「教理学」ってどんな学びなのかと好奇心を持って受講しました。

永野拓也司祭によりまずと「教理」を一言で表すとすれば、キリスト教の「教え」を意味する言葉だそうです。今回は「ニケヤ信経を通して考える「信仰」」にスポットをあてて教理学が展開されていきました。第一回目、第二回目的のテキストが難しく感じられ、年々固くなっていく一方の私の頭では理解は簡単ではないわ、との思いを持ちました。

けれども毎回のテーマ、「信じる」とは何か?—(七月)、—「神様とは?—(九月)、—イエス様ってどんな方?—(十一月)、—聖霊とは何か?—(一月)、—教会とは何か?—(三

月)を多くの文献や書物を参照し、付記され、また新・旧約聖書のみ言葉を通して、細部にわたり熱心に力強く解き明かしてくださっていますので、徐々にテキストの奥深い教理(教え)を理解できるようになりました。

特に印象に残っているのはニケヤ信経の成り立ち、歴史、重みは圧巻で感動を覚えました。「聖霊」に関する理解の違いが一つの理由となり東西の教会の分裂が起こったことを、この度初めて認識できました。四世紀に既にニケヤ

信経の大枠は出来上がり若干の修正を施して現在に至り、聖公会の信仰の大切な基盤となつて十数世紀以上の間、かつての使徒たちと同じように現在の私たちも聖餐式の度に唱えていることに改めて思いを新たにします。

また長い歴史の流れの中で神様は常に世界の一致、教会の一致を望まれて私たちを教会に集めてくださっていることに改めて目覚めさせられる思いです。次回で最後となりますが、今ではテキストを楽しみに待っている私に変換させられた次第です。

神学塾運営委員会の司祭様方・スタッフの皆様方にごこの場をお借りしてお礼と感謝を申し上げます。

木本慈子・
廣島復活教会信徒

「神学塾に学ぶ」

つかず、締切を過ぎて申し込んだこともありましたが、私はどうしてここまで続けてきたかというと、五月で満九十歳を迎えます。年を取っても、何かに挑戦したい!、自分を律するためはどうしても何か欲しい、そんな気持ちが強く続けてきたように思います。ですが、決してよく学んだわけではありません。その証拠に、何一つ頭の中に残っていないのですから。

日々忙しい生活の中(一人暮らし。週四日習字教室で教えている)での私は、テキストが来るとすぐ飛びついて息も切らず最後まで読みます。そして、あとはゆっくりと読むと自分に言い、机の上に置き、時々チラチラと目が行く度に心が痛みます。もつとすっかりしなければと思うのですが、実行が伴わない。このような生活の中でも神様は私を決して見放さないでいて下さるといふ事もこの年今になつて初めて感じる幸せを味わっています。聖書のみ言葉

澄田悦子・
米子聖ニコラス教会信徒

※ ※ ※

神学塾通信講座を受講して頂いた皆様の信仰が養われていくことを神学塾運営委員一同大変嬉しく思っております。二〇二一年度も七月から「旧約聖書」と「礼拝学」を開講いたします。詳しくは本紙四面または、各教会に配布されています。皆様のご案内をさせていただきます。皆様の受講をお待ちしています。

司祭 杉野達也・
神学塾運営委員

オーガスチンの まなざし



主教 小林 尚明

「み国が来ますように」 を祈り続ける

五月十三日から二十三日まで、自分のため、五名の友人のために祈っていただけでしたか。そして、この期間だけではなく、継続して祈っていたのだと思います。福山・倉敷の平野一郎司祭が、この「み国が来ますように」の励ましのために、紹介して下さった文章を、以下に掲載します。ジョージ・ミユラーの『祈りの力』という本からです。二一八四四年十一月に、私は、五人のまだ救われていない人々のために祈り始めました。健康である時も、病の床に伏している時も、旅をしている時も祈り続けました。そしてどんなに説教要請の数が増えたときにも、この祈りを忘れたことも一日もありませんでした。この五人の中で、最初の人々が救われるまでに一八カ月の時が過ぎていきました。私は神に感謝し、さらに祈り続けました。それから

五年の歳月が過ぎ去りました。そしてついに二番目の人が主イエスに立ち帰ってきました。そこで私は、この二人目の回心のゆえに神に感謝すると、残りの三人のために祈り続けました。私は日々この三人のために祈ったのです。三人目が救われるまでに、さらに六年の月日が過ぎ去って行きました。そして三人目の人が救われたのです。この三人目のために主を讃える、私はさらに残る二人が救われるために、祈り続けました。そしてこの二人は、いまだに救われていません。神の豊かな恵みによって、何万回となく、瞬間的に、あるいはその日のうちに祈りに応えられた私、この二人の個人の救いのために、三六年間もの間祈り続けなければならず、しかもまだその応えが与えられていないのです。今度の十一月で、祈り始めてからちょうど三六年になりました。しかしそれでもなお私は神に望みを置いて祈り続けています。そして、答えが与えられるのを期待して待ち望んでいます(注、この中の一人は、ミユラーの死の直前に救われた。他の一人がはつきりと救われたのはミユラーの死後のことであった。)さあ神様に期待して、祈り続けましょう。

(神戸教区主教)

西日本 宣教協働区 協働委員会報告



二〇二〇年十一月に主教会から「宣教協働区・伝道教区制について」と言うメッセージが出されました。

「日本聖公会主教会は、日本聖公会の現状と将来に思いを巡らせ、今、私たちがなすべきことについて協議・検討してきました。その結果を二〇二〇年十月二十七・二十九日に開催された日本聖公会第六十五(定期)総会に第十号議案『日本聖公会法規の一部を改正する件』(宣教協働区・伝道教区制の設置)として提案し、可決されました。このことにより、二〇二〇年十月三十日より日本聖公会を三つの宣教協働区に分け、各々の宣教協働区で協働すること、また教区は教区会の決議と総会の承認によって教区主教を置かない伝道教区に移行することが可能になりました。」

「今回提起された『宣教協働区』という考え方は、従来の教区という単位を越えて、共に支えあい、共に歩もうとす

るものです。そのためには各々の教区の持つ制度的・慣習的違いを分かち合い、理解し合い、よりよい方向を目指して行くことが期待されます。宣教協働区に建てられる『協働委員会』の使命は、このような違いを分かち合い、理解し合うための調整機関です。またそれらを理解し合った上で、宣教協働区内で求められる宣教活動や、助けを必要とする部分への牧会活動を具体化するための計画を策定する機関でもあります。これらに加えて協働委員会には教区の再編成(教区の合併や設立)を立案、調整する働きが求められています。」

(二〇二〇・十一月・二十
主教会メッセージより抜粋)

*西日本宣教協働区 協働委員会

三月六日に行われた日本聖公会臨時総会において、次期教区主教を選出しない北関東教区を伝道教区にすることが決議されました。また大阪教区と京都教区も合併の動きがあります。教役者不足や財政難と言うことばかりではなく、より豊かな宣教を目指した動きのための合併だと考えられます。

西日本宣教協働区協働委員会は、他教区との合併ではなく、三教区の協働が主な目的となります。これまでも神戸教区は「沖縄・九州・神戸三教区協働委員会」を通して信徒・聖職の交流がなされてきました。今回、これを機に「西日本宣教協働区協働委員会」と名称を改め、各教区から教区主教、聖職・信徒各一名の三名が出席して今年一月から毎月、協働委員会を開催しています。二〇一二年に行われた日本聖公会宣教協議会から十年が経つ二〇二二年には、この十年の成果を分かち合い、これからの宣教について話し合われますが、協働委員会の働きは、これからの宣教体制の模索となります。ただ三教区の情報交換しか行えていませんが、将来的には今まで行ってきた活動を引き継ぎつつも新たな試みを計画することも考えられ、インターネットを利用した礼拝や講演会などの可能性も話題となりました。

今後、委員会からのお知らせなどがありましたら、皆様にお伝えいたします。

(西日本宣教協働区協働委員
司祭 瀬山 治)

鳩だより 《敬称略》

祝 洗 礼

二月六日(土) マリア 松井 佐代子 神戸聖ミカエル教会
三月二十八日(日) マリア 村上 みゆき 神戸聖ヨハネ教会
四月四日(日) ガブリエル 大平 ひかり 明石聖マリア・マグダレン教会
四月十四日(水) サムエル 塔田 浩 米子聖ニコラス教会

ご 逝 去

一月十一日(月) ヤコブ 石原 正彦 神戸聖ミカエル教会
一月二十三日(土) モニカ 八尾 久美子 神戸聖ミカエル教会
二月六日(土) マリア 松井 佐代子 神戸聖ミカエル教会
三月二十六日(金) バルナバ 桑原 浩 神戸聖ミカエル教会
四月十六日(金) マリヤ 岡 房枝 岡山聖オーガスチン教会

祝 聖 婚

二〇二〇年十一月二十二日(土) パウロ 笹 寛紀 アグネス 山田 雪 神戸聖ミカエル教会
二月二十七日(土) ヤコブ 長谷川 優 前田 七海 神戸聖ミカエル教会
四月十七日(土) マリヤ 大倉 明恵 永井 直樹 神戸昇天教会

教 籍 移 動

二〇二〇年十一月二十二日(日) アグネス 笹 雪 京都教区京都聖ヨハネ教会より 神戸聖ミカエル教会へ
三月二十七日(土) パウロ 西野 洋 マタラのマリア 西野 みゆき 徳島聖テモテ教会より 横浜教区鴨川聖フランシス教会へ
四月四日(日) マリア 中村 妙子 松山聖アンデレ教会より 日本キリスト教団今治教会へ
四月七日(水) ミリアム 長田 奈津子 ベネディクト 長田 尽希 フランチェスコ 長田 生喜 テレジア 長田 歩祈 ジョージ 長田 時記 広島復活教会より 神戸聖ミカエル教会へ



7月の教区関係教役者 逝去記念聖餐式

日時 2021年7月1日(木) 午前10:30
場所 神戸聖ミカエル大聖堂
司式 主教 小林 尚明
説教 司祭 長田 吉史

※中止の場合がございます。恐れ入りますが、ご出席される方は、事前に教区事務所までお問合せ下さい。よろしく願い致します。
教区事務所 TEL.078-351-5469

* 7月の記念逝去教役者

Table with 3 columns: Date, Position, Name. Lists deceased clergy members for July, including dates like 1日, 3日, 5日, etc., and names like ロバート コールマン, 小川 淳一, etc.

ギデオンの安福朗
神戸聖ミカエル教会より
大阪教区尼崎聖ステパノ教会へ
四月十五日(木)
マリア 加計 晃子
神戸聖ミカエル教会より
岡山聖オーガスチン教会へ
四月二十三日(金)
マリヤ 與賀田 紫乃
ヒルデガルト 與賀田 美詞
アンブロウス 與賀田 侑人
高知聖パウロ教会より
神戸聖ミカエル教会へ
四月二十五日(日)
セシリア 藤井 左織
アンジェリーナ 藤井 まりん
アグネス 藤井 満栄
神戸聖ヨハネ教会より
広島復活教会へ

神戸教区神学塾 通信講座のお知らせ

開講期間 2021年7月~2022年6月まで
礼拝学『色々な礼拝を知ろうー礼拝って楽しいー』
《講師》宮田 裕三 執事
(期間中の奇数月に資料をお届けします。)
旧約聖書『旧約聖書のイスラエル史』
《講師》小南 晃 司祭
(期間中の偶数月に資料をお届けします。)
受講料
教材を郵送する場合 …… ¥3,000(1科目)
教材をメール(PDFファイル)で送る場合
…………… ¥2,000(1科目)
申込〆切 2021年6月27日(日)
※詳細は各教会に届いております案内をご覧ください。
※問い合わせは…杉野達也司祭
(米子聖ニコラス教会 0859-29-8465)まで。